

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	MOTIV RX-1	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.590	△RG	0.025	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：RX-1

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：QZ1 RED

フレアーの幅 インチ

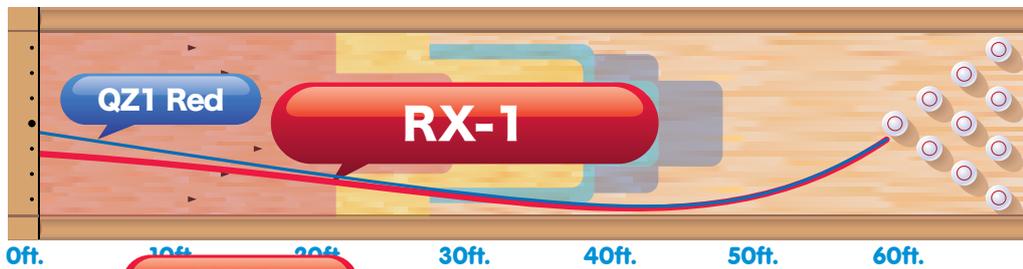
PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工

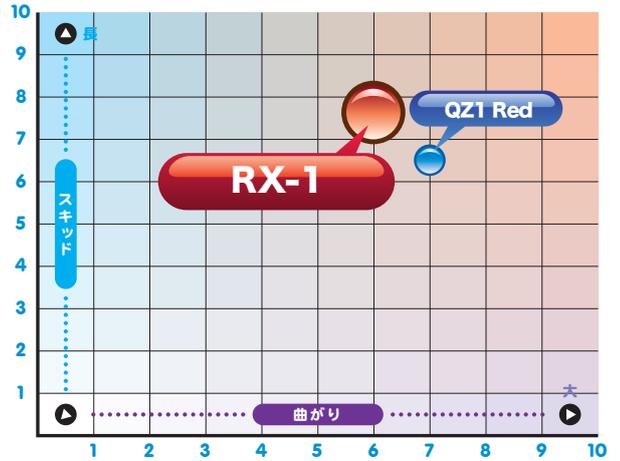
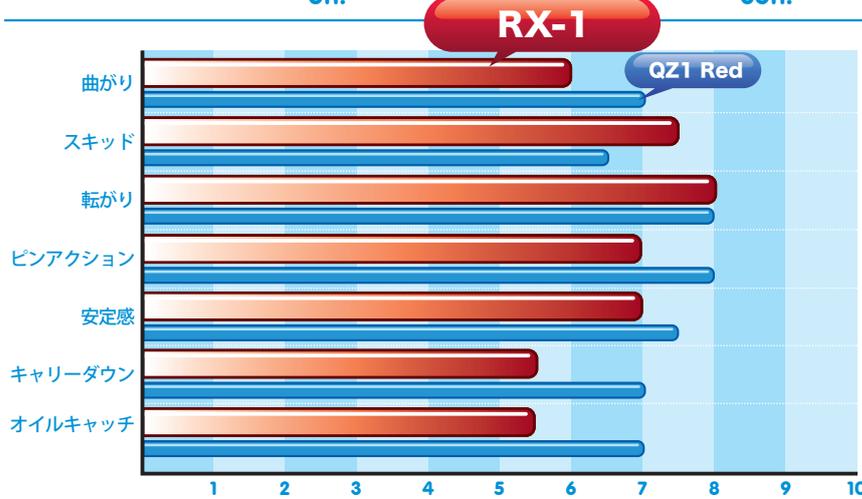
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

”ライトオイルコンディション及びショートオイルコンディションへの追求”。

ライトなコンディションでもスキッドを確保し、細かく少ないフレアー幅の”RECON”コアが先での切れを演出致します。MOTIVの中でもオイルの吸収率が低い耐吸油性カバーストック”Motivator-X”を搭載し、細長い独特な形状の”RECON”コアの△RG数値を0.025まで落としました。このMotivator-XとRECONコアとの組み合わせと設定数値は、ボウラーによって与えられた転がりから生まれる軸移動を最小限に抑え、ライトなコンディションやショートオイルのコンディションに照準を合わせた”スペシャルな性能”と言っても過言ではありません。

今回はPAPからピン4inの強いレイアウトでこのボールをテストしましたが、フレアー幅が2inにも満たない一本一本の細かいトラック、手前の軽いスキッド感とドライゾーンやオイルの薄いところに触れても過激な反応を見せない安定感が好印象で、ミッドエリアで独特な曲がり始めをする今までのMOTIVのボールと比べると、明らかにパワーバンドが先の”Late Reaction” (先での反応)を感じる事ができるでしょう。

表面の光沢がありドライゾーンでの急激な反応をみせるキャッチ系のボールが主流の中、ライトなオイルでもスキッドを得ることができ、噛み終らないで先までのリアクションを確保できる性能はここ最近にはないボールです。曲がるボールから曲がりの少ないボールを揃える過程で、ミディアム以下のコンディションで如何にその状況に合わせられるボールを持つことがスコアメイクの鍵になることなのか。それはRECONを持つことなのです。

特記事項

耐吸油性カバーストックとRECONコアの組み合わせはライトオイルやショートなコンディションで抜群な性能を発揮致します。MOTIV Orangeの配色も鮮やかで綺麗です。